

レコレトス通りとコロソ広場 Paseo de Recoletos y plaza de Colón

高所得層の居住地や国際商業の中枢が存在する、レコレトス通りからカステリャーナ通りにかけての地域は、21世紀の経済金融の中心になるべく躍進している近代的・国際的なマドリッドのシンボルといえる。ところで、歴史上の人物の名を冠する広場によって分断されながら、市内を南北に貫通しているこの道筋をたどると、両側に住宅、金融機関、各種企業などを擁する多種多様な建築物を見ることができる。



レコレトス通り

Paseo de Recoletos
19世紀に行われた都市拡張計画は、マドリッドをその社会階級によって分割した。目抜き通り沿いには貴族が住み、中産階級はサラマンカ地区やアルグエリエス地区に居を構え、庶民は南部に居住した。カステリャーナと呼ばれたこの道筋は、当時のマドリッド市街と拡張計画によって開拓された新市街とを分割する動脈となり、マドリッドを西と東に分ける軸となった

“カフェ” Los cafés

通りの反対側、一様に鉄製のバルコニーを有する領主風邸宅の並ぶ軒下には、古きよき時代を偲ばせるカフェがあり、夏になると屋外カフェテラスが設置されている。カフェ・ヒホンやカフェ・エル・エスペボなどは代表的なカフェで、前世紀当初から長い間インテリたちの集う場を提供してきたが、今日では一般市民が憩う場となっている。

シベレス広場を後にして北に向かい、レコレトス通りをたどれば、道路中央の豊かな緑の遊歩道をゆっくりと気持ち良い散歩できる。この界限に中産階級の邸宅や貴族の館が建てられたのは、イサベル2世の治世下だった。それらの邸宅は広大な庭園を有し、ほとんどがこの通りに面していた。



コロソ広場 Plaza de Colón

レコレトス通りが終わる所がコロソ広場で、新大陸発見者コロソの像が立っている。広大な大陸発見広場公園の地下が、マドリッド市文化センターになっている。



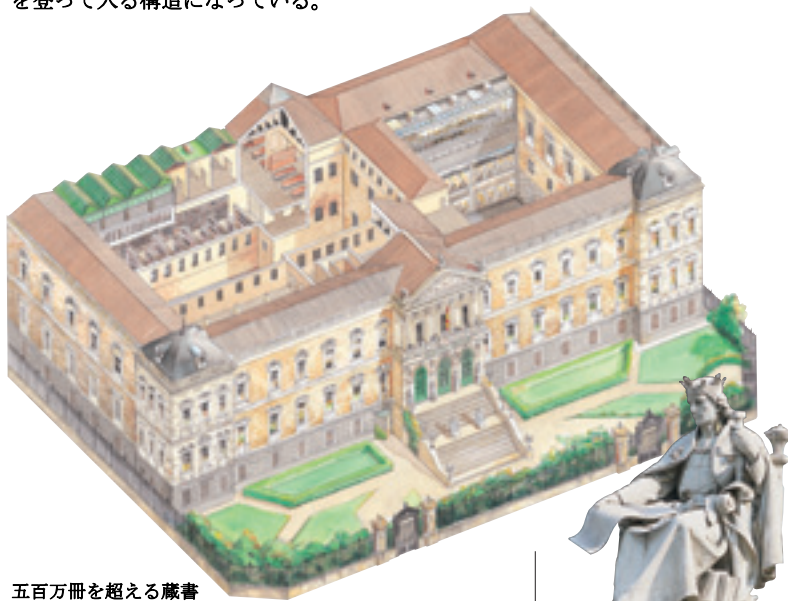
「鏡をもつ婦人」フェルナンド・ボテロの作品

国立図書館 Biblioteca Nacional

▶▶ 開館時間

電話: 91 580 78 00
月曜—金曜: 09h-21h
土曜: 09h-14h
日曜: 休館。
www.bne.es

レコレトス通りとセラーノ通りに挟まれたブロック全体を占有しているこの大きな建物は、二人の建築家の手を経て、1866年から1875年まで10年の歳月をかけて完成された。当初、建築家フランシスコ・ハレニョが、ネオクラシック様式で高さのある空間をデザインして始まったプロジェクトだったが、その後アントニオ・ルイス・デ・サルカに引き継がれると、オリジナルのネオクラシック様式の装飾部分を削除したり、入り口の柱廊部分を3つの半円アーチに置き換えたりして、大幅に簡素化をはかった。最終的に出来上がったのは大きな正方形の建物で、その入り口へは、両側に歴史上の偉人達の彫像を配した広い階段を登って入る構造になっている。



五百万冊を超える蔵書

Más de cinco millones de libros

国立図書館は五百万冊を超える書物を蔵している。蔵書には、活版印刷術発明期の印刷物、手書きの書物、版画版書物を始め、30以上の言語で書かれた3000冊を超えるミゲル・デ・セルバンテスの著書「ドン・キホーテ」の完全版コレクションもある。これらの蔵書のほとんどは納本によるもので、1716年フェリペ5世が、印刷業者に対して、スペインで印刷される全ての書物を1部ずつ納入するよう義務付けた事から始まる。

1938年にこの納本義務は、写真刊行物にも広げられた。地図類、楽譜類、ポスター類そしてビデオにまでおよぶ蔵書は、膨大な量になっている。

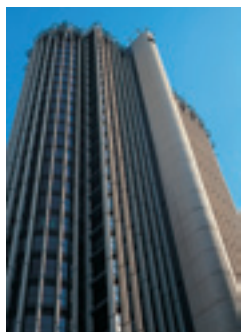


国立図書館入り口にあるアルフォンソ10世の彫像(下)「処罰の書」のミニチュア。



カステリャーナ通り Paseo de la Castellana

シベレス広場からコロン広場までのカステリャーナには伝統的建築と近代的企業ビルが共存しているが、コロン広場以北カステリャーナ広場までの区域は金融関連企業の超近代的建造物に独占されている。コンクリートと鉄鋼とガラスと鉄でできた巨大なタワービルの数々がスペイン経済の基幹企業を擁している。多国籍企業、スペイン企業、金融関連企業、大手商社などが競って巨大で近代的なビルを造った。それらの谷間の小さな通りも開発され、車の走行は地下の道路へ迂回されるなどしてできた街の様相から、この一帯は”マドリッドのマンハッタン”と呼ばれるに至った。

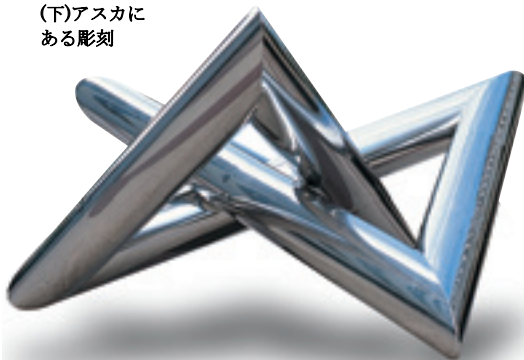


(上)
カステリャーナ通りに立ち
並ぶビルの数々

マドリッドの金融中枢 El centro financiero de Madrid

ヘネラリッシモ通りA街区地域商業連盟(略称AZCA)。1929年に発足したボダゴール計画とは、オーレンセ、ヘネラル・ペロン、カステリャーナ、ライムンド・フェルナンデス・ピリャベルデの4つの通りに囲まれた街区を商業活動の要地として開発しようとするものであったが、そのプロジェクトの一部がこのアスカ (AZCA) 地区であった。結局は実現を見なかったこの初期プロジェクトが、1957年に再度浮上し、紆余曲折の末1970年によりやく実行に移された。この一帯にはマドリッドの金融界の中核をなす企業の本社ビルが立ち並ぶ。ルイス・ブランコ・ソレールの建築による、ガラス張りのファサードを持つ大手デパート、エル・コルテ・イングレスの店舗や、先の火災で失われてしまったウィンザービル跡などが、このAZCA商業地区の前面に位置している。また、カステリャーナ通りには、屋外彫刻美術館がその作品を展示している。

(下)アスカに
ある彫刻



自然科学博物館 Museo de Ciencias Naturales

カステリャーナ通りに沿って歩いていくと、サン・ホアン・デ・ラ・クルス広場の近くに、スペインで始めてその主構造に鉄とガラスを使った建築物のひとつである、自然科学博物館がある。化石、石器などの器具類、鉱物などを始め、地球の発達を物語るコレクションが収められている。1771年にこの博物館が創設されて以来、購入や寄贈によって世界5大陸から収集されたコレクションに加えて、近年は革新的な新技術が導入され、同博物館見学は、さらにインタラクティブで知的興味を満たすものになった。

▶▶▶ 開館時間

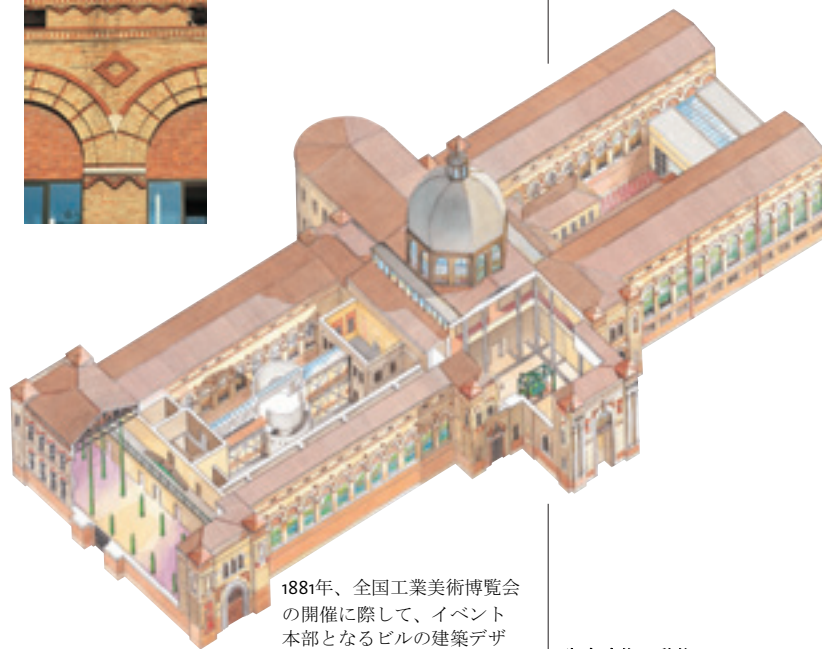
電話: 91 411 13 28
火曜—金曜: 10h-18h.
土曜: 10h-20h
(7月, 8月土曜: 10h-15h)
日曜・祭日: 10h-14h30

入館料 (一般): 3ユーロ.

www.mncn.csic.es



自然科学博物館ファサード
のレンガ構造の細部



1881年、全国工業美術博覧会の開催に際して、イベント本部となるビルの建築デザインを、スペイン人建築家からコンクールで募集した。

先史時代の動物のコレクションが特に興味深い。

フェルナンド・デ・ラ・トリエンテの作品が優勝し、1881年のうちに早速、建築が開始された。1886年トリエンテの死去に伴い、建設はエミリオ・ボイス・モリノに引き継がれ、翌年に完成した。完成した建物は、自然歴史関連のコレクションを収蔵する場となった他、そのオリジナル建築構造を一部切除して、高等工業技術学校が増築された。ファサードはレンガ部分とセラミック部分との色合いのコンビネーションが絶妙。その上に、建物全体の構造中心として大きなクーボールが設置されている。



マドリッドのサッカー事情 El futbol en Madrid



100年以上の歴史を持つレアル・マドリッドは、サッカー史上世界で最も重要なチームのひとつであると言っても決して過言ではないだろう。1950年代に、ヨーロッパや世界のサッカーシーンで頭角を現したレアル・マドリッドの存在が、今やマドリッドの街やマドリッド県を、ひいてはスペインという国を世界に知らしめていると言える。マドリッドでレアル・マドリッドに次いでサポーターの数が多いいのは、アトレティコ・デ・マドリッドのチームで、地元同士のダービー戦では両チームのファンの中で激しい火花が散らされる。



ヨーロッパ・チャンピオン・リーグ優勝を祝うレアル・マドリッドの選手達



ヨーロッパ・チャンピオン・リーグ9回制覇
Nueve veces campeón de Europa

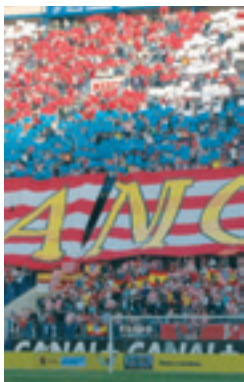
9度目の制覇達成には10年以上の時間を要したが、近年ヨーロッパの覇権を再び制して樹立した、ヨーロッパ・チャンピオン9回達成の記録には、イタリアのミラノや英国のリヴァプールらの強豪チームでさえも遠く及ばない。

(写真下左)

近年で最も傑出したレアル・マドリッド選手の一人、ラウ



サンティアゴ・ベルナベウスタジアム内には、トロフィールームや、マドリッドチームに関する全てを展示しているミュージアムがある。



アトレティコ・デ・マドリッド Atlético de Madrid

アトレティコ・デ・マドリッドはマドリッドで2番目のサッカーチームで、そのホームはマンサナーレス川沿いにあるビセンテ・カルデロンスタジアム。95/96年度のリーグ優勝を果たし、スペインリーグ9回制覇を樹立した同チームは、スペインでは重要なチームのひとつであるが、その実績、実力においてレアル・マドリッドには及ばない。しかしサポーターのチームに対する熱狂的支持においては決してレアル・マドリッドにひけをとらない。2003年にチーム創立100周年を迎えた。



アトレティコ・デ・マドリッドのホーム
ビセンテ・カルデロン スタジアム